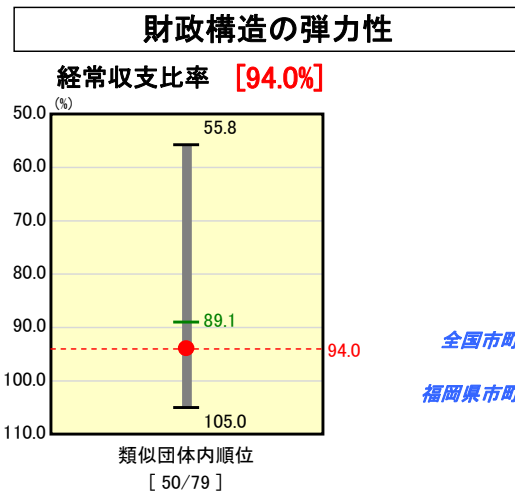
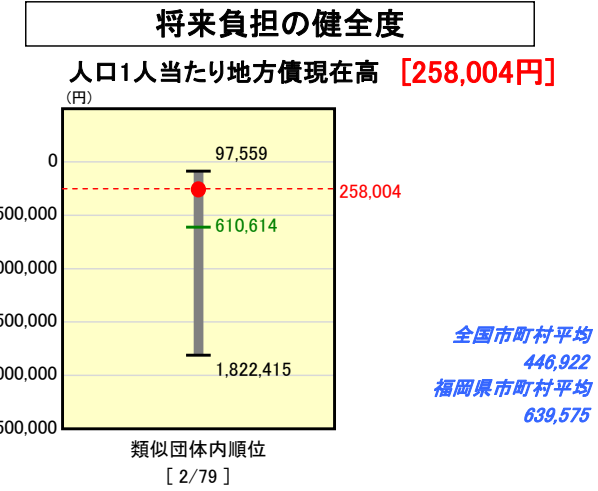
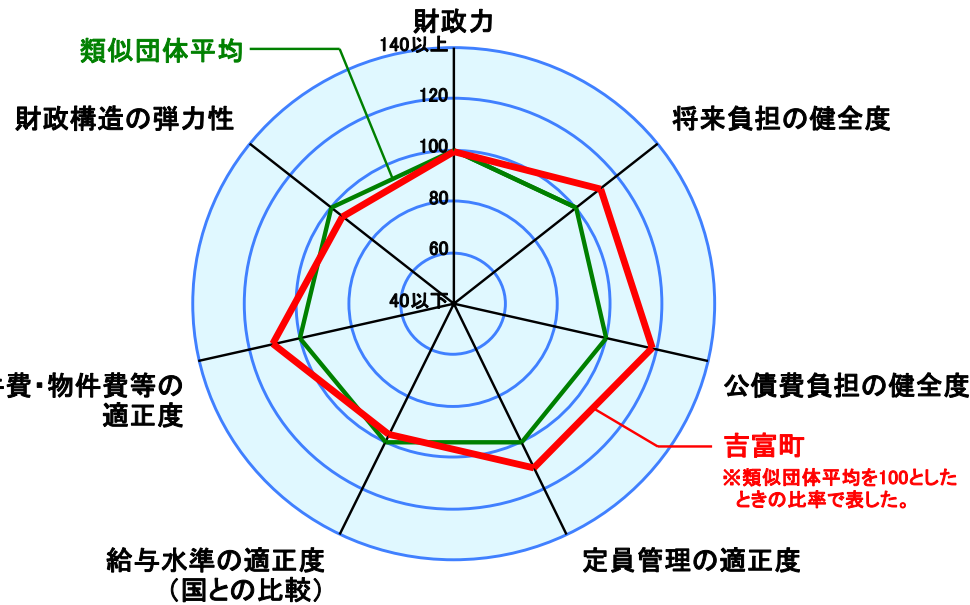
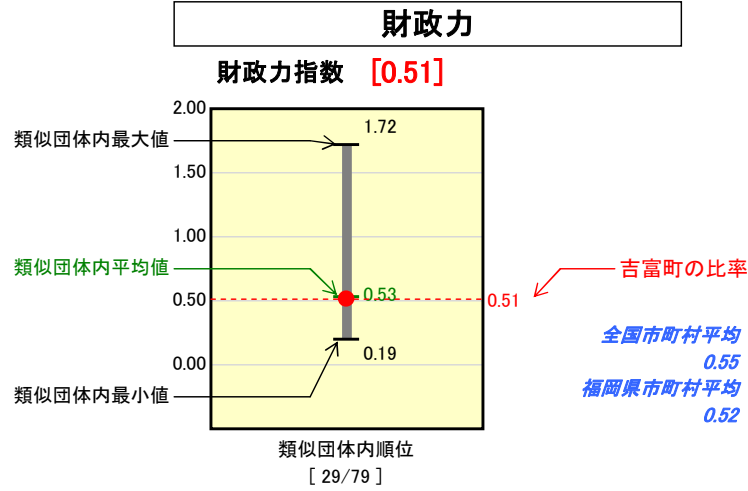


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福岡県 吉富町

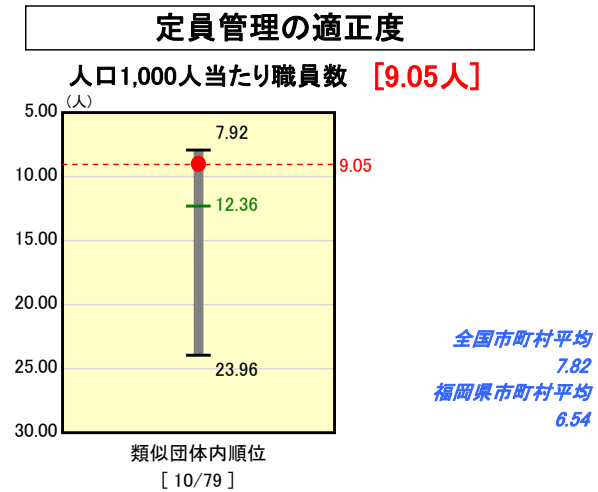
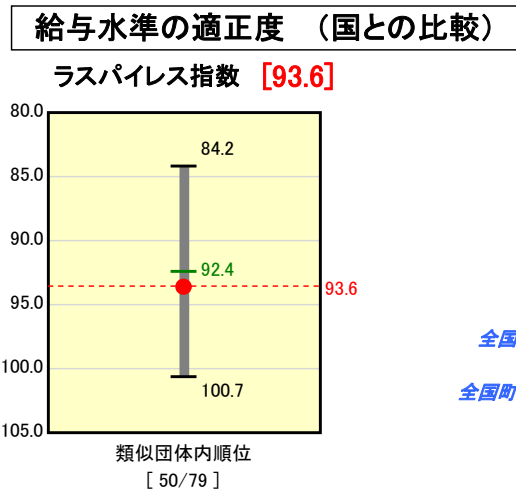
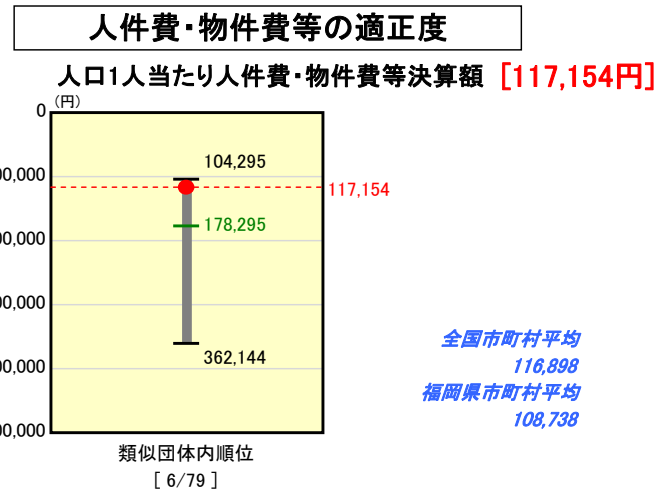
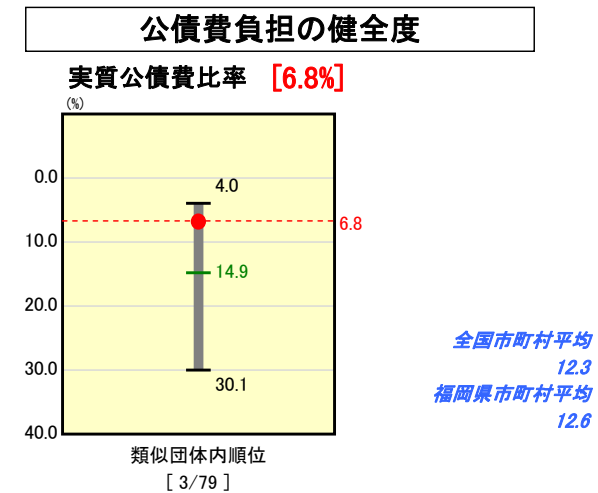
人口	7,296	人(H20.3.31現在)
面積	5.68	km <sup>2</sup>
歳入総額	2,596,126	千円
歳出総額	2,477,442	千円
実質収支	111,439	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力  
類似団体と比較すると、低くなっているが、本町における法人税が近年減少傾向にあり、基準財政収入額が減少していることが原因と言える。

○将来負担の健全度、財政構造の弾力性、公債費負担の健全度  
経常収支比率は近年増加傾向にあるが、今年度増加した要因は昨年度に引き続き一部事務組合等に対する負担金が増加したことにある(リサイクルセンター建設によるもの等)。  
また、公債費は増加しているものの、その多くは臨時財政対策債で、後年度普通交付税で措置されるものであり、地方債残高についても類似団体と比べ少なくなっているといえる。

○人件費・物件費等の適正度、給与水準の適正度、定員管理の適正度  
人件費については、類似団体と比較して人口1,000人当たり職員数は少ない。これは本町の面積が狭く、山間地等も少ないため、行政投資等を行う必要性が少ないことから考えられる。  
物件費については、類似団体と比較すると低水準であるが、今後は賃金、旅費、需用費、役務費、委託料等、不断の点検を行い、削減に取り組んでいく。

一般的には、現時点では健全性は保たれているが、きたるべき地方分権時代への対応が十分というわけではない。今後も、吉富町財政検討委員会や集中改革プラン、及び財政健全化計画等に基づいた行財政改革を推し進めていく。